



EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBUN NEWS

# Nurse Letter

2015 1月

## 看護部長 森本タケ子

新年あけましておめでとうございます。

2025年の医療提供体制の構築に向けたカウントダウンの始まりとして、2014年は診療報酬改定、病床機能報告制度が実行されました。2015年1月から通常国会へ「患者申出療養(仮称)」などが盛り込まれた健康保険法改正案の提出、4月からは各都道府県でスタートする地域医療構想の策定、介護報酬の改定、臨床研究中核病院の創設、日本医療研究開発機構の発足、10月には医療事故調査制度と看護師の特定行為に関する研修制度等が予定され、2015年は多くの各種制度改革が相次ぐことが想定され従来以上に慌ただしい1年となります。当院も2月に電カルテ導入、5月に病院機能評価受審が行われます。今まで以上にチーム医療が重要な意味を持つようになります。そのために、今年は看護部をはじめメディカル部門との連携強化を図っていききたいと思います。

愛媛労災病院看護部にとって「あなたが必要なのです。」一人ひとりがもう一步、先に踏み込んでこの1年を頑張っけて乗り切っていきたいです。



## 北5階救急時トレーニング

循環器病棟では、不整脈などで容態の急変が起こり得るため迅速な対応を行えるよう4年前から急変時シミュレーションを定期的に行っています。内容は、BLSとICLSを組み合わせたシナリオをつくり夜勤設定で看護師3人・管理当直・医師の役割を演じています。今年は、細かいスキルアップを目指し方法をスタッフで話し合い、4、5人のグループをつくり自主練習を事前に行った上で実施しています。スタッフ全員が参加することで急変時シミュレーションの必要性の意識が高まり技術のレベルアップも実感しています。今年度は、北5階の「ありの～ままの～姿みせるの～」をテーマに皆さまにも気軽に見学していただくことと予定しますので是非お越し下さい。

もっちもちもちぱーしゅんあっしゅ



## がん化学療法看護認定看護師 大沢 由香

がん化学療法看護認定看護師は、様々ながん治療を受ける患者さん・ご家族が、治療を選択する際意思決定支援や、副作用の対処法の情報提供を行い、自宅での生活や、仕事と治療の両立など、がんサバイバーとして生活する患者さんが抱える問題を一緒に考えていきます。また院内では、がん化学療法に関する指導・相談役としての役割があります。愛媛労災病院が、がん患者さんにとって頼れる病院であるために、患者さん・ご家族が安心して、自分らしい生活を送りながら治療ができるお手伝いをしていきたいと思っています。そして、看護職にとっても相談できる認定看護師であるよう、自分の持てる知識・技術の提供は惜しみなく行い、皆で共にベストなケアを提供していきたいと思っています。まずは、がん相談支援や病棟ラウンドなどの取り組みを行い、院内外で認定看護師を身近に感じてもらえるようにしていきたいです。

